

## 評価指標の検討について

## 1. 自然と共生した魅力ある住まいの推進

|   | 住生活の成果指標                                       | 前回計画<br>策定時<br>(H27 年度)  | 今回設定（令和 4 年度）    |                  |                   |
|---|------------------------------------------------|--------------------------|------------------|------------------|-------------------|
|   |                                                |                          | 現状値<br>(令和 3 年度) | 達成度<br>(令和 3 年度) | 目標値<br>(令和 13 年度) |
| 1 | 今後も丹波市に住みたいと思う市民の割合（丹波市 市民意識アンケートの結果より）        | 新規設定<br>(H29 :<br>78.8%) | 76.3%            | —                | 増加                |
| 2 | 公共交通機関を利用している市民の割合（丹波市 市民意識アンケートの結果より）         | 新規設定<br>(11.3%)          | 4.6%             | —                | 増加                |
| 3 | 丹波市の景観や町並みの美しさに満足している市民の割合（丹波市 市民意識アンケートの結果より） | 新規設定<br>(54.5%)          | 62.7%            | —                | 増加                |

## 2. 定住と交流が育む活気ある住まいの推進

|   | 住生活の成果指標                                          | 前回計画<br>策定時<br>(H27 年度) | 今回設定（令和 4 年度）    |                  |                   |
|---|---------------------------------------------------|-------------------------|------------------|------------------|-------------------|
|   |                                                   |                         | 現状値<br>(令和 3 年度) | 達成度<br>(令和 3 年度) | 目標値<br>(令和 13 年度) |
| 1 | お住まいの自治会・小学校区の住環境に満足している市民の割合（丹波市 市民意識アンケートの結果より） | 新規設定<br>(63.4%)         | 63.2%            | —                | 増加                |
| 2 | 相談窓口を利用して移住した世帯数                                  | 7 世帯/年                  | 77 世帯/年          | 順調               | 増加                |
| 3 | 20 代女性の純移動数（転出超過数）                                | 132 人/年                 | 92 人/年<br>(R2)   | 順調               | 減少                |

## 3. 誰もが安全・安心に暮らせる住まいの推進

|   | 住生活の成果指標             | 前回計画<br>策定時<br>(H27 年度) | 今回設定（令和 4 年度）    |                  |                   |
|---|----------------------|-------------------------|------------------|------------------|-------------------|
|   |                      |                         | 現状値<br>(令和 3 年度) | 達成度<br>(令和 3 年度) | 目標値<br>(令和 13 年度) |
| 1 | 住宅の耐震化率              | 新規設定<br>(66%)           | 77% (H30)        | —                | 97% (R7)          |
| 2 | 住宅セーフティネット制度による登録物件数 | 新規設定<br>(一戸)            | 706 戸            | —                | 増加                |
| 3 | バリアフリー改修の補助件数        | 239 件                   | 304 件            | 順調               | 増加                |
| 4 | 長寿命化型の改修を実施した市営住宅の戸数 | 18 戸                    | 108 戸            | 更なる取り組みが必要       | 240 戸             |

## 評価指標の考え方

### 基本目標 1

- 「今後も丹波市に住み続けたいと思う市民の割合（丹波市 市民意識アンケートの結果より）」  
→指標追加
- 「住み続ける上で困っていること：買い物や通勤時の交通手段が不便（住まいの市民アンケートの結果より）」  
→独自アンケートによるもので、住民意識による指標であり、実態として利用しているかどうかを計る「公共交通機関を利用している市民の割合（丹波市 市民意識アンケートの結果より）」で「ほとんど利用しない」「全く利用しない」「無回答」を除く割合に指標変更
- 「相談窓口を利用して移住した世帯数」  
→基本方針 2 の成果指標へ
- 「丹波市の景観や町並みの美しさに満足している市民の割合（丹波市 市民意識アンケートの結果より）」  
→指標追加

### 基本目標 2

- 「今後の居住意向：丹波市に住み続けたい（住まいの市民アンケートの結果より）」  
→「お住まいの自治会・小学校区の住環境に満足している市民の割合（丹波市 市民意識アンケートの結果より）」に指標変更
- 「ふるさと教育の参加人数」  
→新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの要因により、参加人数は左右されるため、削除
- 「20 代女性の純移動数（転出超過数）」  
→指標としてそのまま採用

### 基本目標 3

- 「住み続ける上で困っていること：水害や土砂災害など防災面で不安（住まいの市民アンケートの結果より）」  
→独自アンケートによるもので、住民意識による指標であり、安心を感じることも大事であるが、実態として防災に繋がっている指標とは言い切れないため、削除
- 「住宅の耐震化率」  
→指標追加
- 「高齢者が積極的に地域での活動に参加できていると感じている市民の割合（丹波市 市民意識アンケートの結果より）」  
→指標として、高齢者が地域の活動に参加できていると感じることは、本基本目標の評価として適切ではないため、「住宅セーフティネット制度による登録物件数」に指標変更
- 「バリアフリー改修の補助件数」  
→指標としてそのまま採用
- 「長寿命化型の改修を実施した市営住宅の戸数」  
→指標としてそのまま採用